

道銀SDGs私募債発行企業のご案内



Hokuhoku Financial Group, Inc.

弊行は、下記のとおり、道銀SDGs私募債を引受しましたのでお知らせします。

今回の道銀SDGs私募債の発行を記念して、発行企業から指定のあったSDGsに取り組む団体・基金へ、当行から寄付を行います。

私募債の発行は企業規模、財務、収益内容についての厳しい発行基準(適債基準)をクリアすることが必要であり、道銀SDGs私募債発行企業は優良企業として社会的評価がなされています。

道銀SDGs私募債の概要	
銘柄	マルヒラ渡邊水産株式会社 第1回無担保社債 (北海道銀行・北海道信用保証協会共同保証付)
発行額	5千万円
発行日	2022年6月30日
期間	5年
資金用途	事業資金
寄付先	公益財団法人 アイヌ民族文化財団 ウポポイ(民族共生象徴空間)の運営主体。アイヌ語やアイヌの伝統文化の保存・振興、アイヌに関する知識の普及を通じ、アイヌ民族の誇りが尊重される社会の実現と多様な文化の一層の発展を目指します。
発行企業概要	
企業名	マルヒラ渡邊水産株式会社
創業・設立	1950(昭和25)年創業・1986(昭和61)年設立
所在地	登別市富浦町1丁目41番地の1
代表者	代表取締役 渡邊 譲
資本金	1千万円
業種	うに製造加工業
ホームページ	https://uninotakumi.jp
事業内容・SDGs取り組み等	同社は1950年創業の登別市唯一のうに製造加工業者です。同社のうには2020年度の登別市ふるさと納税の返礼品人気ランキング1位を獲得するなどの実績があります。 SDGsの目標「つくる責任、つかう責任」「海の豊かさを守ろう」を踏まえ、うに殻の有効活用など廃棄量削減に取り組んでいます。 同社はウポポイのある白老町の隣接エリアにあることから、今回の起債により「アイヌ民族文化財団」への寄付を選択されました。
企業からのメッセージ	うにの身はデリケートで崩れやすく、機械で取り出すことは困難です。当社では、創業70年を超える経験を生かし、熟練の職人たちが手間暇をかけ、匠の技で丁寧に身を取り出しています。 今回の起債をひとつの契機として、これからもSDGsを踏まえた企業活動を続けてまいります。

北海道銀行は、SDGs達成に向けた取り組みを応援します

〈該当するSDGsの目標〉



SDGsは Sustainable Development Goalsの略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。
ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

